

1 目標値



本計画における施策を推進するにあたって、以下の目標値等を設定し、検証・評価を行います。

1 目標値

基本目標1 高齢者の心身の状況やニーズに応じた多様な住まいの確保

指標	現状値	中間目標値	目標値
高齢者人口に対する高齢者向け住まいの割合	3.8% (2014年度)	3.9% (2020年度)	4.8% (2025年度)
サービス付き高齢者向け住宅等の供給戸数	9,471戸 (2017年度)	11,028戸 (2020年度)	13,700戸 (2025年度)
高齢者の居住する住宅のうち一定のバリアフリー化が行われた割合	37.5% (2013年度)	53.0% (2020年度)	75.0% (2025年度)

※「高齢者向けの住まい」とは、国が当指標の対象として定めているものを踏まえ、本計画では、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、高齢者向け優良賃貸住宅、緊急時対応の設備がついた市営住宅を対象とする。

※「一定のバリアフリー化」とは、二箇所以上の手すりの設置又は屋内の段差解消を行うもの。

基本目標2 高齢者の住まいへの入居支援の充実

指標	現状値	中間目標値	目標値
住まいサポートふくおかによる賃貸借契約成約世帯数(累計数)	177世帯 (2017年度)	220世帯 (2020年度)	700世帯 (2025年度)

基本目標3 在宅で安心して暮らせる包括的な支援体制の構築

指標	現状値	中間目標値	目標値
地域包括支援センター(いきいきセンターふくおか)の認知度	46.8% (2013年度)	60.0% (2019年度)	80.0% (2025年度)
住み慣れた地域で暮らし続けることができる高齢者の割合	71.3% (2019年度)	増加 (2020年度)	増加 (2025年度)



2 福岡市介護保険事業計画における 介護サービスの必要見込量

2 福岡市介護保険事業計画における介護サービスの必要見込量

福岡市保健福祉総合計画の基本理念等を踏まえつつ、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止に向けた取組み等を本格化していくための計画となる、第9期福岡市介護保険事業計画（原案）（2023年11月、計画期間：2024～2026年度）における介護サービス等の必要見込量は、以下の通りです。

■介護サービス等の必要見込量

項目	指標	現状値 または 見込値 (2023年度)	整備目標量 または 必要見込量 (2026年度)
高齢者が居住する 既存住宅のバリア フリー化の促進	住宅改修・介護予防住宅改修 (介護保険)	392件	480件
	住宅改造相談センター	1,500人	1,500人
高齢者向け施設等 の整備	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	6,391人分	6,581人分
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	2,266人分	2,535人分
	介護老人保健施設	2,606人分	2,606人分
	特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等)	4,299人分	4,404人分
安心して暮らせる ための生活基盤 づくり	声の訪問事業	760人	850人
	緊急通報システム事業	5,250人	5,850人
	おむつサービス事業	6,210人	7,110人
	短期入所生活介護・ 介護予防短期入所生活介護	26,230日/月	33,070日/月
認知症施策の推進	認知症の人の家族介護者支援事業	20人	50人
	家族介護者支援事業	60人	80人
	認知症の人の見守りネットワーク 事業	1,100人	1,235人
在宅生活を支える 介護保険サービス の提供	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1,064人	1,400人
	小規模多機能型居宅介護・ 介護予防小規模多機能型居宅介護	890人	1,130人
高齢者総合支援 体制づくり	いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター)	57箇所	57箇所
	成年後見制度利用支援事業（高齢者）	78人	136人

資料：第9期福岡市介護保険事業計画（原案）

はじめに

第1章

現状と課題

第2章

基本理念と基本目標

第3章

高齢者の居住の
安定確保に向けた
具体的な取組み

第4章

計画の目標値等

第5章

計画の推進と評価